

## 山形県林政連絡会を開催しました

令和6年7月23日(火)、山形市の山形県自治会館会議室で「令和6年度山形県林政連絡会」を開催しました。この会議は、民有林と国有林の連携を深め、林政を巡る諸問題に関する情報や意見を交換するために、東北森林管理局管内5県でそれぞれ開催しているものです。

当日は、山形県から星農林水産部長、福井森林ノミクス推進課長、各総合支庁森林整備課長等が、東北森林管理局から唐澤次長、各森林管理(支)署長、朝日庄内森林生態系保全センター所長等が出席しました。

山形県と東北森林管理局より、双方の今年度の取組内容や多方面にわたる事業予定の情報提供があり、それらに対して多くの質疑応答がなされて、お互いに認識を深めることができました。

意見交換に入り、「花粉発生源対策」のテーマでは、民有林・国有林ともにスギ人工林の伐採を推進し、伐採跡地には花粉の少ない苗木等の植栽を促進する予定であることが報告され、幾つかの課題についての指摘と対応策について意見を交換しました。

もうひとつのテーマ、「地域ごとの課題」では、県内の各地域についての、民有林と国有林の垣根を超えた森林・林業等を取り巻く状況と、それらに対する対応等の発言や説明がありました。

- ・最上地域：豪雨災害対策、スマート林業、地すべり防止事業、東北農林専門職大学との連携等
- ・庄内地域：マツクイムシ被害対策と地元民間団体との連携、今後の方向付け
- ・村山地域：豪雨災害対策、地域材の活用とブランディング、オオシラビソ枯損対策等
- ・置賜地域：クマの皮剥ぎ対策での連携状況、大規模森林火災の対応等

以上についての情報と意見の交換を行い、発言は引きも切らず時間を超過しそうな勢い、それぞれ各総合支庁と各森林管理(支)署との連携を更に進めることを再確認する機会となりました。

今後とも引き続き、地域の民有林行政・研究機関等との連携を進めながら、課題の解決に取り組んでまいります。

